

「大東市版ブロックチェーン構想 ～株式会社京伸編～」

大東市版ブロックチェーン構想の一環として、「ものづくりコネク」にご参加頂いている企業の発信内容をご紹介します。

第7回は、「働きやすさNO.1」

前回の古川社長に続いて、総務人事担当として活躍中の木之下さんにインタビューしました！

株式会社京伸に入社して6年になる木之下さん。事務パートとして入られた頃、会社の社員数は20人。そのうち女性はたった3人だったそうです。今では社員数は50人を越え、女性だけでも10人に。

当初は人も少ないので、事務作業全般を何でもしていたそうですが、今では人も増え、人事業務をメインに担当されています。

人事担当としての苦勞は、「人事部がそもそもなかったため、まだまだわからないことが多いこと。」といます。

面接も担当していて、過去の実績や経験などを話す方よりも、「まず身だしなみ、コミュニケーションが取れる人、そして前の会社のグチを言い過ぎない人。」をポイントにしているそうです。



「オープンファクトリーで社内コミュニケーション」

大東市で 2023 年 11 月 3 日に行われたオープンファクトリーCONTACT では、主担当として任された木之下さん。

1 回では大きな変化はまだまだ出来ていないし、社内での情報共有がとても大変だったそうですが、「子どもたちへの工場案内」、「家族に働いているところを見てもらえる」ということを通して、社員のモチベーションアップに繋がり、社内でのコミュニケーションもとても良くなったそうです。

普段、自分の仕事を人に話す機会のない人たちも一般の人に話すことで、変化は起こりつつあるといえます。



「業務改善活動5S」

株式会社京伸では業務改善活動「5S」を行っており、毎月それぞれのチームの改善活動に対して、プレゼンを行い全社員の投票により順位が出ます。

木之下さんは 2023 年度にはチームリーダーとして、社内の様々な改善にも取り組まれました。

一例として、2023年3月には「これではらつきなく、みんな迷うことなく同じ掃除ができます。きれいなトイレが保てる。」というテーマで、「掃除の手順書とトイレトーパーホルダー」の製作を行いました。



「社内でヨガしてます！」

お昼休みには皆さんでヨガをしたり、トレーニングをしたりと、**健康のための活動**が行われています。木之下さんも月2回ヨガをされています。女性の日、男性の日があり多くの社員が参加されています。こういった活動は、健康だけではなく**社内コミュニケーションの活性化**にも大きな役割を果たしているそうです。



「将来に向けて」

木之下さんの夢は、いつかお子さんたちが大きくなったら、飲食店を開くことだそうです。今はその将来に向けて、多くの仲間たちとのコミュニケーションを大切にしながら、会社がどんどん大きくなるのを一緒に体験できることが楽しいそうです。

他にも社内図書館があったり、トレーニングルームがあったりと、様々な取組が行われている株式会社京伸。会社のことを話すだけで、楽しそうな木之下さんの笑顔を見て、いい会社だなと改めて感じました。

これからますます伸びていく株式会社京伸に注目です。

本記事は以上になります。
ありがとうございました。